No.41 October 2020

静岡大学地域創造教育センター

地域と大学 第41号

Newsletter No.41, Education Center for Regional Development

第42回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会実施報告

地域創造教育センター長 阿部 耕也

9月14〜15日の2日間にわたって第42回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会大会が開催されました。この協議会は、大学開放・生涯学習支援・地域連携等を活動の軸とする全国約20大学のセンターが加盟するもので、年に1回、情報共有・意見交換を行う大会を開催しています。今回は静岡大学が当番校で、当初は全国から静岡に集まって開催する予定でしたが、新型コロナ禍のためオンライン開催となりました。

初日は研究フォーラムが開催され、最初に本学開催の社会教育主事講習でも「社会教育の広報・広聴」を担当されている東海大学・河井孝仁先生による基調講演「地域魅力創造サイクルという発想〜地域人材の育成と大学・生涯学習センターの役割」が行われました。シティプロモーションを軸としながら能など様々な視点を取り入れた地域魅力創造サイクルという発想はとても刺激的で、多くの質問が出て時間内に取り上げきれないほどでした。次いで、菊地伊豆市長、松崎町・深澤課長、学生支援センター・宇賀田先生、地域創造学環4年の増田さんをパネリストとしてパネルディスカッションが行われました。地域と大学をつなぎ、地域でまた大学で地域人材の育成をはかる方向性や仕掛けを検討しました。参加大学からはいつもと一味違ったメニューだったが、とても刺激的で面白かったという感想をいただきました。

2日目には、会員大学からの出席者全員による全体会と3つのグループに分かれた分散会が設けられ、北海道から鹿児島まで全国の大学にいながらオンラインによるディスカッションを実施し、活発な意見交換が行われました。慣れないオンライン会議で主催者側も参加者も四苦八苦でしたが、大学開放・生涯学習支援・地域連携に取り組む職員さんからはオンラインだったから参加できたという声も寄せられました。オンライン講義・会議の課題とともに、生涯学習系センターの活動を拡げる可能性も垣間見えた大会でした。今回交わされた議論、もたらされた取組事例や様々な知見を本センターの運営に活かしていきたいと考えています。講演者・パネリストの皆様、参加者の皆様、ありがとうございました。

第42回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会（当番校：静岡大学）

・主題：地域人材の育成と大学・生涯学習センターの役割
・日程：2020年9月14日（月）〜15日（火）
・開催方法：Zoomによるオンライン会議
・プログラム：

【9月14日（月）研究フォーラム（当番校企画）】

［基調講演］

パネルディスカッションの様子

「地域魅力創造サイクルという発想」講師：河井孝仁（東海大学文化社会学部教授）
［パネルディスカッション］
「地域人材の育成と学生の人材養成をつなぐもの」
パネリスト：
菊地 豊（伊豆市長）、深澤準弥（松崎町企画観光課長）、宇賀田栄次（静岡大学学生支援センター教授）、増田彩香（静大フューチャーセンター運営ディレクター）
コメンテーター：丹沢哲郎（静岡大学理事／副学長）
ファシリテーター：
阿部耕也（静岡大学地域創造教育センター長）
［センター研究協議会総会］
【9月15日（火）研究協議会（理事会企画）】
全体会Ⅰ（趣旨説明など）
分散会
全体会Ⅱ（分散会報告など）

2020年度静岡大学公開講座

静岡大学では、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978（昭和53）年より公開講座を実施しています。

今年度の公開講座は、下の表のとおり、4月から翌年3月にかけて多彩な15講座を実施しています。担当教職員それぞれの専門分野を生かした、特色ある講座となっています。

静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大学の特徴を生かし、静岡キャンパス、浜松キャンパス、農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールド等で開講します。

なお、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、止む無く延期・中止する講座があります。最新情報は地域人材育成・プロジェクト部門HPでご確認ください。

http://www.lc.shizuoka.ac.jp/

講座名	講師	日時	会場	対象	各日定員	受講料	主催
日本人の知らない世界 ［全15回］ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期（9/5・12・19・26、10/3・10・17・24・31、11/7・21・28、12/5・12［全15回］を実施予定）	人文社会科学部准教授・張 盛開 人文社会科学部教授・埋田重夫 人文社会科学部教授・朴 根好 人文社会科学部准教授・大原志麻 人文社会科学部教授・小二田誠二 人文社会科学部教授・南 富鎮 人文社会科学部教授・鈴木実佳 人文社会科学部教授・安永 愛 人文社会科学部教授・大薗正彦 国際連携推進機構特任准教授・比留間洋一 人文社会科学部教授・堀 博文 人文社会科学部教授・田村充正 人文社会科学部教授・Steve Redford 学長補佐室特任教授・ダリウス・グレニジ	4/18、5/9・16・30、6/6・20・27、7/4・11、9/19、10/17・24、11/7・21（土）14:00～16:00 4/18は13:00～16:00（13:00～13:50・14:00～16:00）、10/17は10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民	60	無料	人
私のミカン～ミカンの通年管理教室～［全5回］ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	技術部技術専門員・成瀬博規 技術部技術職員・周藤美希 農学部准教授・八幡昌紀	5/19、7/7、9/8、11/10、3/2（火）13:30～15:30	農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールド	一般市民	10	10,000	技
安心登山・アウトドア活動のための読図とナヴィゲーションスキル（初級編） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期（9/27実施）	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング日本チャンピオン・小泉成行	5/23（土）9:30～16:30	静岡キャンパス	登山・アウトドア活動を行う一般市民	25	3,500	教
静岡の自然と文化 ～東部・伊豆半島を中心に～ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期（11/29に定員を40人に減らして実施予定）	地域創造学環教授・小山眞人 静岡大学名誉教授・白井嘉尚	6/6（土）13:00～16:15	プラサヴェルデ	一般市民	80	無料	地

講座名	講師	日時	会場	対象	各日定員	受講料	主催
巡礼路から見る世界 ～サンティアゴ、イングランド、四国遍路～ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期（11/7に定員を100人に減らして実施予定）	静岡大学名誉教授・今野喜和人 人文社会科学部准教授・大原志麻 立命館大学経済学部教授・田辺加恵 人文社会科学部教授・久木田直江 愛媛大学法文学部教授・胡 光	7/18（土）10:00～15:40	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	研究者、学生、一般市民	130	無料	人
作って学ぶ、工学部の化学実験 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	工学部教授・植田一正 技術部技術専門職員・草薙弘樹 技術部技術職員・早川敏弘	7/23（木）または8/1（土）いずれも14:00～17:00	浜松キャンパス	中学生・高校生（保護者同伴可）	20	無料	工
紅茶作りに挑戦しよう ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	農学部教授・稲垣栄洋 技術部技術専門員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	7/28（火）13:00～16:00	農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールド	小学生とその保護者、一般市民	20	1,000	技
遺伝子の世界を見てみよう［全2回］ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	グリーン科学技術研究所准教授・道羅英夫 技術部技術職員・森内良太 グリーン科学技術研究所特任助教・兼崎 友 技術部技術職員・柿添崇文	8/6（木）10:00～17:00、8/7（金）10:00～15:00	静岡キャンパス	県内高校生	20	無料	グ
愛おしさから読み解くくだものの多様性～園芸と民藝の融合～［全3回］	農学部准教授・松本和浩	8/21、9/25、11/27（金）14:00～16:30	藤枝市生涯学習センター 道の駅下賀茂温泉湯の花健康文化交流館「来・て・こ」	くだものの歴史、品種、味等の多様性またはそれらを活かした地域活性化に興味がある消費者、生産者	50 50 30	無料	農
体験！大学の化学実験［全2回］	グリーン科学技術研究所教授・近藤 満	8/22（土）・23（日）10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生（保護者の同伴可能）、理科教育の関係者	30	無料	グ
第3回 邦人作品の調べ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	教育学部講師・服部慶子　ほか	8/30（日）14:00～16:00	静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）	一般市民、生徒、教員	100	無料	教
静岡大学キャンパスミュージアム公開講座2020［全5回］ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	理学部非常勤講師（ふじのくに地球環境史ミュージアム教授）・岸本年郎 理学部准教授・徳岡 徹 人文社会科学部准教授・山岡拓也 理学部准教授・石橋秀巳 技術部・宮澤俊義	10/10・17・24・31、11/7（土）10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、小中高生（中学生以下は保護者同伴）	20	無料	キ
市民社会と法～家族とおカネにまつわる法について～［全5回］	地域法実務実践センター客員教授・上原裕之 地域法実務実践センター客員教授・宮下修一 地域法実務実践センター教授・朱 曄	10/10、11/14、12/5、1/9、2/13（土）13:30～15:30	静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）	一般市民	30	無料	人
人工知能技術の発展と社会の変化 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンデマンド配信に変更	情報学部准教授・山本泰生 情報学部准教授・李 皓 情報学部講師・藤岡伸明 情報学部准教授・狩野芳伸	11/7（土）10:35～12:00	浜松キャンパス	興味のある方ならどなたでも	70	無料	情
和と洋の江戸時代の音楽を聴こう～バロック音楽と地歌箏曲～	教育学部准教授・長谷川 慎	3/13（土）14:00～16:00	静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）	一般市民、生徒、教員	100	無料	教

［主催欄凡例］

人＝人文社会科学部　教＝教育学部　情＝情報学部　工＝工学部　農＝農学部　地＝地域創造教育センター
キ＝キャンパスミュージアム　グ＝グリーン科学技術研究所　技＝技術部

地域創造学環部門の上半期（4月～9月）事業報告

静岡大学地域創造学環は、2016年4月にスタートした、従来の学部の枠組みを超えた新しい全学学士課程横断型教育プログラムです。幅広い教養と高い専門知識を身につけながら、地域（フィールド）に飛び出し、より魅力的な地域社会の創造に取り組むことのできる人材の育成を目指しています。

さて、地域創造学環では、多様な学修ニーズに対応するために、2020年4月より「地域サステナビリティコース」、「アート＆マネジメントコース」、「スポーツプロモーションコース」の3コース制に再編しました。新たにスタートする地域サステナビリティコースでは「地域経営」、「地域共生」、「地域環境・防災」の3分野を設け、より自由度の高いカリキュラムと柔軟な教育システムを提供します。

地域創造学環のカリキュラムの柱となる「フィールドワーク」の授業では、地域と連携しながら地域課題の解決に取り組んでいます。2020年度前学期は、静岡県内14箇所において、16のテーマのもとで、フィールドワークを展開する予定でいましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、そのほとんどのフィールドにおいて現地実習・現地学修の実施を見合わせることとなりました（各フィールドのテーマは、下記の表を参照）。また、例年、フィールドワークの活動を発表する「フィールドワーク報告会」を実施し、地域の皆さまに活動を知ってもらう機会を設けておりますが、今年度はその開催も見送りました。

なお、2019年度の活動をまとめたフィールドワーク報告書を地域創造学環のホームページに掲載しています。そのほかにも、各フィールドの学生たちがフィールドワークの活動を随時紹介するコーナーもありますので、ぜひご覧ください。

静岡大学 地域創造学環ホームページ
http://www.srd.shizuoka.ac.jp/

【2020年度前学期フィールドとテーマ】

フィールド	テーマ
静岡市　清水港周辺地域	浜田・清水地区の情報発信とおもてなしによる交流・活動人口の増加
静岡市　庵原地区	庵原地区の地域資源を活かした食・スポーツによる地域活性化
静岡市　駒形・おまち	駒形通りと「おまち」のにぎわい創出
静岡市　浅間通り商店街	浅間通り商店街のにぎわい創出
焼津市　浜通り	地域住民と高校生との交流に基づいた地域づくり活動
浜松市　浜松文芸館 （公益財団法人 浜松市文化振興財団）	若者の文芸離れを食い止めよう
浜松市　佐久間町	暮らし体験で交流の環づくり
掛川市 田園空間博物館 南遠州とうもんの里	子どもを呼び込むための環境づくり
御前崎市	御前崎スポーツ振興プロジェクトースポーツによる交流人口の拡大と産業振興の推進ー
松崎町	①なまこ壁が残る松崎町商店街のにぎわい創出 ②防災と観光の両立
東伊豆町	新しい観光スタイルの発掘・創出プロジェクト
伊豆半島ジオパーク	①伊豆半島ジオパークにおける環境保全と防災対策 ②伊豆半島ジオパークの持続可能な開発と教育（SDGs/ESD）の推進
県営団地	県営住宅団地における居場所づくりと地域福祉資源のネットワーキング
学内地域連携拠点	静大発　地域と大学の連携を広めよう！

フィールドワークの取り組み

2020年度前学期は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、多くのフィールドにおいて現地実習・現地学修の実施を見合わせました。このような状況にあって、地域創造学環では、どのように地域と関わり、どのようなフィールドワークを実施してゆくのか、試行錯誤を重ねながら取り組んできました。

まず、各フィールドの活動として、オンラインで地域の方々と話し合いの場をもうけたり、地域での活動再開に際しての計画や企画の検討を行いました。また、読書会などを実施し、地域や地域課題、研究テーマなどについての理解も深めました。

さらに、フィールドワークの授業全体の方針や計画を審議・検討する「フィールドワーク委員会」では、今後の現地実習・現地学修の実施を見据えて、ガイドラインを検討し、その運用を開始しました。また、移動の際に使用する大学の車両も、乗車人数を制限する等の対策を講じました。あわせて、地域での活動にあたっては、その実施14日前からの健康観察を義務付けるとともに、三密の防止、マスク着用、消毒、手洗い、うがい等を徹底し、教員・学生各々が感染拡大防止に自覚を持って行動してゆくことも確認しました。

大変困難な状況にありますが、いま自分たちに何ができるのかを考え、模索しながら、今後も地域での活動に向けて邁進してゆきます。

フィールドメンバーでのオンラインミーティング

地域の方々とのオンラインによる話し合い

大学内で地域の方と企画を検討する様子

2020年度　地域創造学環夏季オープンキャンパス

新型コロナウイルス感染防止と安全の確保を考慮して、2020年度の地域創造学環夏季オープンキャンパスは、地域創造学環のホームページ上で実施することになりました。

地域創造学環及び入試の概要や、各コース（地域サステナビリティコース、アート＆マネジメントコース、スポーツプロモーションコース）の概要を動画にて紹介し、また、地域創造学環のカリキュラムの柱であるフィールドワークについて、地図や画像を交えて、各フィールドの紹介をいたしました。

また、個別相談対応としてWeb上で質問フォームを作成し、学環のカリキュラム、入試、各コースの詳細についての質問を受け付け、ホームページ上で公開いたしました。

新型コロナウイルス感染症流行の影響により、例年のような活動が難しい状況の中、実施可能な対応を考え、今後も地域創造学環の入試・広報活動を展開していく予定です。

動画による概要説明（夏季OC特設サイトより）

フィールドワーク紹介.（夏季OC特設サイトより）

地域人材育成・プロジェクト部門の上半期事業報告

地域連携応援プロジェクト

2011年度より「地域連携応援プロジェクト」として、本学学生・教職員が主体となり、すでに地域団体や自治体等と協働で取り組んでいる、または、新たに取り組もうとする地域の活性化につながる活動を学内で公募し、支援しています。2020年度は11件の応募があり、そのすべてを採択しました。年度末には成果報告書を刊行し、学内外に広く配布する予定です。

採択したプロジェクト一覧

部局	代表者	プロジェクト名
人文社会科学部	鈴木 拓也	静岡県内における子どもの「学び」と「遊び」をサポートするためのコンテンツ開発事業〜キッズクラブSKIPを通じた取り組み〜
人文社会科学部	横田 宏樹	静岡市丸子地区における「地域的価値づくり」プロジェクト
理学部	徳岡 徹	伊豆の植物を楽しむプロジェクト
情報学部	杉山 岳弘	天竜浜名湖鉄道のオリジナルフォント制作による地域活性化事業
情報学部	藤岡 伸明	浜松地域企業における新型コロナウイルスの影響と対策に関する調査・支援事業
農学部	切岩 祥和	在来作物の遺伝資源継承事業における超音波技術の活用
農学部	松本 和浩	絶滅が危惧される富士市浮島ヶ原自然公園のノハナショウブ調査・保護事業
地域創造学環	井原 麗奈	展示企画PAINting 〜「痛み」と向き合うことと、その可能性を考える展覧会〜
大学教育センター	安冨 勇希	浜松市におけるSDGsと社会参画を学ぶ多国籍の若者を対象とした国際交流事業
教職センター	山本 隆太	伊豆半島におけるジオガイドの観光・教育のデジタル化支援プロジェクト
イノベーション社会連携推進機構	寺嶋 芳江	静岡県内の研究機関における生物多様性条約対応に向けた情報共有と交流プロジェクト

地域課題解決支援プロジェクト

地域からの課題提案を受け、学生・教職員と地域住民が協働して解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」も8年目に入っています。本年度上半期に取り組んだ課題の進捗状況について報告します。

オンライン東伊豆学生サミット「学生と地域の発展的関係性〜大学生の地域活動報告会〜」

東伊豆学生サミットは、フィールドワークの一環として3月に予定されていた学生交流イベントでしたが、新型コロナ禍のため延期になっていました。今年前期、オンラインで実施された東伊豆フィールドワークの中で企画が進められ、Zoomを用いたリモート開催とすることで、この企画を「オンライン東伊豆学生サミット」として8月8日（13時〜17時）に実施しました。

サミットは、東伊豆に持続的に関わっている大学の活動を紹介し合い共有することで、新たなシナジーを生み出すこと、地域内の活気を生み出すこと、外部の方で知っていただいた方に東伊豆で活動したいと感じてもらうことを目的として実施されました。

当日は、東伊豆町・太田町長の挨拶に始まり、芝浦工業大学、工学院大学、明治大学、静岡大学の4大学と東伊豆町包括連携協定締結大学の取り組みが報告され、その後、参加学生は「観光」「建築」「農業」の3つのテーマに分かれ、分科会形式で意見交換が実施されました。

大学生だけでなく、町民の方々、各大学の関係者なども参加し、東伊豆町で展開されている学生の活動を初めて知ったという参加者も多かったようです。また、同じフィールドで活動しながらお互いの取組内容を初めて知ったというケースも多く、お互いに刺激を得ることができ、今後の連携の可能性についても話し合われました。

今回のサミットは、NPO法人ローカルデザインネットワークと東伊豆町フィールドワーク生が企画・運営を行ったイベントで、東伊豆町にとっても、そこで活動する学生にとっても有意義な取り組みとなりました。

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

静岡大学・読売新聞連続市民講座「静岡学事始め第二章～歴史と大地の“層”を紐解く～」

本学創立60周年を機に始まった静岡大学・読売新聞連続市民講座は今年で12年目を迎えました。

今年度も会場で対面により開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催方法を変更し、初めてWeb会議システムZoomを利用したオンライン講座として実施しました。

例年、年配の受講者が多いため、Zoomを初めて利用される方や操作に不慣れな方向けに事前説明会を実施しましたが、当日は機器の不具合等により音声が聞き取りにくい時間帯もあり、運営側の課題も浮き彫りになりました。それでも受講者からは「オンラインであれば離れた地域に居住していても専門家の講義を聴くことができるので嬉しい」といった声が寄せられ、今後の市民向け講座の可能性を感じることができました。また、過去にはほとんどいなかった10代、20代の参加もあり、県内外の幅広い年代の方に受講いただくことができました。

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	9/5（土）	家康の駿府築城と天守台	本多隆成（静岡大学名誉教授）	73
2	10/31(土)	静岡県における過去数千年間の地震・津波の履歴	北村晃寿（静岡大学防災総合センター長）	－
3	11/21(土)	駿河湾海底堆積物からの贈り物、メタン！～基礎研究から社会実装まで～	木村浩之（静岡大学グリーン科学技術研究所・理学部教授）	－

■参加費：無料

■連携先：読売新聞東京本社静岡支局

企画協力事業

長泉町民図書館講座「文学と美術でめぐる富士山」

- 日時：2020年9月9日（水）18:30～20:30
- 講師：小二田誠二（静岡大学人文社会科学部教授）
- 会場：コミュニティながいずみ3階ホール
- 受講料：500円
- 受講者数：31名

市民開放授業

市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。

2020年度前学期は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、受講者の皆様の健康・安全面を最優先に検討した結果、止む無く中止しました。

後学期も引き続き学生の授業が対面授業と在宅授業の併用で実施されることとなり、教室の収容人数にも制限があるため、学外の方に参加していただくことが難しいと判断し中止することにしました。

地域創造教育センターからのお知らせ

東部サテライト「三余塾」設置

静岡大学では、大学の地域貢献力をより高めるために、持続可能で多様性に満ちた未来社会の構築を目指した分野横断的な教育研究を推進する上での核となる組織として、本年4月に「未来社会デザイン機構」を設置しました。さらに7月には、静岡県東部地域における教育・研究・産学連携の拠点として、伊豆市サテライトオフィス内に「東部サテライト」を設置し、7月29日に開所式を挙行しました。

「東部サテライト」には県東部地域における課題解決のための戦略を担う教員が常駐し、「協働のパートナーを見つける場」「学びの場」「情報を得る場・仲間に出会う場」の3つの「場」の機能を備えるため、サテライト稼働の準備を進めているところです。

同サテライトは、地域の住民をはじめとするあらゆるステークホルダーとの協働で地域人材を育成することを目標としており、幕末期の伊豆松崎において、明治日本を支える多数の人材を育てた土屋三余の理念に通じるところがあることから、副称を「三余塾」としています。

東部サテライト開所式

・日時：2020年7月29日（水）11:00〜11:40
・会場：静岡大学東部サテライト（伊豆市青羽根65番地の1）
・次第：
［学長挨拶］石井 潔（静岡大学長）
［来賓祝辞］菊地 豊（伊豆市長）、土屋優行（静岡県特別補佐官）
［テープカット］

テープカットを行う左から丹沢機構長、菊地市長、石井学長、土屋特別補佐官

新任教員紹介

10月1日付で山本隆太准教授が地域創造教育センターに着任されました。

教員自身によるご挨拶につきましては、号を改め、本誌巻頭言でご紹介いたします。

2020年度企画実施委員会

当センターには、「企画実施委員会」が組織されています。地域連携・課題解決に関する事項や全学公開講座の企画・立案・実施に関する事項、その他大学開放および地域人材育成に関する事項について検討しています。今年度の委員は以下のとおりです。

阿部　耕也　地域創造教育センター長
江口　昌克　地域創造教育センター教授
山本　隆太　地域創造教育センター准教授
川﨑　和也　地域創造教育センター特任助教
笠井　仁　人文社会科学部教授
渋江かさね　教育学部准教授
酒井三四郎　情報学部教授
三重野　哲　理学部教授
戸田三津夫　工学部准教授
楢本　正明　農学部准教授
水谷　洋一　地域創造学環教授
滑田　明暢　大学教育センター講師
坂下　裕一　学務部長（兼）地域連携推進課長

地域と大学　第41号

発行日―― 2020年10月20日
発行―― 静岡大学地域創造教育センター
編集―― 大谷 悦子
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
（事務局別館2階）
TEL: 054-238-4817　FAX: 054-238-4295
E-mail : kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp
URL： www.lc.shizuoka.ac.jp/
（事務局）学務部地域連携推進課　☎ 054-238-4055